

平成 28 年度 第 4 回かつしか社会福祉士会役員会 議事録

日時：平成 28 年 10 月 20 日（木）19：20～20：45

場所：亀有地区センター 和室

出席者：吉田、和賀井、中嶋、大石、小暮、勅使河原、新美 計 7 名

作成者：事務局 新美

※今回は役割分担事項がたくさんあります。 の箇所を各自確認してください。

1. ウェルピアまつりについて（報告：和賀井さん、大石さん、勅使河原さん）

①まつり全体における役割分担について

- ・和賀井さんは実行委員会副委員長のため、全体を見て回り調整する役（ブース担当不可）。
- ・警備：大淵さんが班長。巡回警備にあたる役割（ブース担当不可）。
バザー会場の警備のうち、12：00～13：00 と 13：00～14：00 の 2 枠が会の担当。
小暮さんと金杉さんが 1 時間ずつ対応する（順番はどちらが先でも可）。会場入口で「警備」という腕章をして立ち、来場者がルール逸脱しないよう威圧する役割。
- ・PR・展示活動：大石さんが班長

②相談ブースについて

- ・場所は次回実行委員会で正式に決まる。現時点では、2 階で包括堀切と同フロアになる方向。前回より人通りが多い可能性あり。
- ・横断幕を貼る（金杉さん持参）。
- ・会のパンフレットは 20 部用意（吉田さん）。
- ・展示：学習会、懇親会、パルフェスタでの相談風景などの写真と、年間行事一覧を掲示。写真は、大石さんが印刷して A4 サイズでパウチしてくれる（自前負担の申し出あり）。今後の PR 活動で繰り返し使えるようにするため。
- ・相談スペース：ホワイトボードにテーマを記載する（成年後見、介護保険、障害者の就労、認知症の 4 つ）。このテーマに関連するものを中心にパンフレットを用意。全包括が載っているパンフレット、就労支援センターのパンフレット、成年後見センターのパンフレット、介護保険のパンフレットなど。10 部ずつくらいでよい。
- ・おみやげ：緊急連絡先カードの試作品が了承された。100 枚用意する（用紙代のみ会から支給）。ブースに来た人だけでなく、フロアに来た人に配布してまわる予定。緊急連絡先カードの説明文（外で倒れた時や災害時に備えて、記入したカードを財布や定期入れ等、いつも持ち歩くものに入れておくという内容）をつくり、その下にカードを置いておく（新美）。
- ・相談ブース担当者のシフト表を作成する必要あり。
当日の参加者：吉田、和賀井、中嶋、金杉、大石、大淵、小暮、新美 現時点で 8 名
（和賀井・大淵はブース担当できない。金杉・小暮も警備で抜ける時間あり）

要参加確認：賀川、中前、遠山（SSW）、篠塚など

※11月定例会でお手伝いできる人を募集する。

会のHPとFBでも相談ブースをやることを告知し、「ぜひ立ち寄ってください」「お手伝いできる人も募集」などと案内する（**金杉さん**）

※シフト表作成の前段階として、集合時間等のタイムスケジュールをMLで流す（**和賀井さん**）。

前日準備の参加者：**和賀井・大石・勅使河原・新美**

9：00にウェルピアカツしかに集合。作業内容は、テントの表示や横断幕、トイレの案内板等を貼る、ホワイトボードを各部屋に運ぶなど。テントを張るのは業者対応。

③その他持参品について

- ・掃除道具：雑巾（3枚）、スリッパ（1～2組。本来は施設内土足禁止のため、掃除した後にホワイトボード等を動かして現状復帰する時に履く）→当日コンビニで買ってよい。

ほうき・ちりとり→**大淵さん、自宅から持参をお願いします**（まつり終了後、懇親会へは大淵宅を経由してから行きます）

- ・スタッフの名札→**金杉さん**持参

④ベスト作成について

- ・今年度かかる講師料や総会費用、イベント参加費用等を考慮すると予算上ギリギリであり、ベストを作成することにより資金不足に陥るおそれあり。
 - ・団体名等を表示するベストの背中部分が透明の窓になっていて入れ替え可能なものがある。ロゴを作るなどデザイン上の新しいアイデアや希望が出てくる可能性もある。
- せつかく作るならいいものを作りたい。作成するのは来年度の予定とし、それまでの間は他団体のベストなどを見ながら、どんなベストがよいかじっくり検討していく。

2. 11月定例会について（報告：小暮さん）

村松さんの上司の方が講師（HP・FBに案内掲載済み）。パソコンは講師が持参。プロジェクターは金町地区センターで借りる。講師料は1万円とする。参加呼びかけを（**全員**）。

3. 忘年会について

12/15（木）に開催する。12月は忘年会シーズンでもあり、会場決め・予約を早めに行う必要あり。定例会やイベントで集まる人が増えているため、今年の会場（高砂・トラットリアた喜ち）では狭い。別のお店を探す→10/20役員会後の懇親会で、**中嶋さん**から候補地となりそうなお店の提案あり（金町で）。貸し切り可能人数やメニューなど確認してくれる。

4. 「基幹相談支援センターの在り方」研修会への会代表者参加について（提案：大石さん）

- ・10/27（木）18：00～20：00 ウィメンズパル（後見部会と日程が重なっている）
 - ・精神分野で全国的に有名な門屋充郎先生が北海道から講師として来る。
 - ・基幹相談支援センターとは、障害分野で総合的な相談支援を行う地域の拠点。介護保険分野で言うと、居宅介護支援事業所（ケアマネ事業所）にとっての地域包括のようなもの。障害分野では、支援困難なケースについて区に相談しても引いてしまうため、相談支援事業所（障害のケアプラン作成事業所）はよりどころがない。基幹相談支援センターは法律上、市区町村に必置とはなっておらず、葛飾区にはない（足立区にはある）。基幹相談支援センターはそのような背景から葛飾区でも設置が望まれる。
 - ・この研修会終了後の懇親会では、障害福祉課をはじめとした区内障害分野関係者が集まり、今後葛飾区でどうしていくかという意見交流や参加者間の連携強化を行う予定で、会として代表者を参加させたい（大石さんはこの研修会のスタッフで、会代表者参加について話を通してきている。大石さんはスタッフであるため、それ以外の人を代表者とする）。
- 会代表者として、障害分野で働く **小暮さん** が参加する。

5. 3月定例会 講師・小林さんよりお願い（報告：中嶋さん）

聴覚障害者について、聞きたいことを事前に教えてほしい。できれば具体的に。小林さんが講演内容を組み立てるために必要としているので協力を **（全員）**。11月定例会でも参加者に呼びかける。

6. 10/9（日）に開催したバーベキューについて（報告：勅使河原さん）

- ・参加者は17名（うち小学生が2名）。当初は大雨に見舞われたが、長引かずに済んで、バーベキューと交流を楽しむことができた。
- ・4,859円の余りが出た。大淵さんの駐車場代、小学生1名分の参加費返金分（もう1名の親から参加費をもらうのを忘れたため平等を期す目的で）を差し引いて、残金は3,000円。今後の企画で使わせてもらう予定。
- ・今後、家族交流イベントとしての側面を強めていきたい。子どもの前でするには不適切と思われる話も多かったため、ブースを分けて、お子さんにも安心して参加してもらえらるものにした。

7. 成年後見部会について（報告：和賀井さん）

- ・10/27（木）に開催する。
- ・後見をやる会員が増えてきたので、組織として、会員の支えとなれるようにしたい。
- ・後見のことだけで一定のボリュームがあるため、役員会の中で話し合うには時間が足りない。成年後見部会で話し合ったことを役員会に報告する流れとしたい。
- ・今後、成年後見部会を受け皿として、ここから会員を派遣する形をめざしたい。成年後見推進会議の委員など（「かつしか社会福祉士会 成年後見部会」を看板とした会員派遣）。
- ・成年後見センター（社協）の加藤さんからの、会と一緒に組んでやりたいという話とも関連あり。例えば、講演会の後に相談会というような企画を共同で行うイメージだが、社協との

共同企画を行うことで区のバックアップも取り付けられる可能性があり、広報かつしかにも掲載される道にもつながるのではないかと。こうした活動も、成年後見部会として会員を組織化することで発展につなげたい。

- ・参加対象は、役員だけではなく、後見をやっている（あるいはやりたい）一般会員も参加可。

8. 9/8（木）葛飾区議会訪問について（報告：和賀井さん、勅使河原さん）

- ・和賀井さん、金杉さん、勅使河原さんの3名で、公明党と民進党の事務所を訪問。以下の2点を伝えた。
 - ①会の紹介(どのようなことをしているか、地域に100名の会員がいて活躍していること等)
 - ②会としての要望：区のさまざまな事業で活用してほしい。事業計画や審議会の委員推薦枠がほしい。
- ・議員の反応は、「そんな団体あるんですか」「社会福祉士は知っていたけれど」という感じ。民進党議員は、SSWの話には食いついてきた。議員も地域の実情に関わるネタを求めていると思われる。しっかりとした専門職としての知見を提供・提案すれば、議員がそれを議会で取り上げた際に、行政も「どこでそんな知恵を付けてきたんだ」となって、政党側の利益にもなる。今後も提案型で交渉していきたい。
- ・要望については、即実現は難しくても数年後に反映してもらえるようにめざしていく。
- ・ソーシャルアクションとして、ソーシャルワークの一環となる大事な活動。議会と行政はある程度一体のもの。行政だけに、これをやってほしいと言ってもなかなか通らない。政治家・区長に要望を出していくのが大切。癒着でなく公平な態度で。
- ・補足：自民党は議員が個人で動いていて組織として対応してもらえないこと、共産党は系列団体で自己完結してしまうことから、訪問の有効性を検討した結果、訪問対象としなかった。

9. 次回役員会について

総会と来年度事業計画について打ち合わせが必要。来年2月では遅い。

次回役員会は1月に開催する（新年会を兼ねて）。

10. 村松さんより（報告：小暮さん）

村松さんから、会としてこんなことをやってみたらどうかと、提案したいことがあるとの話あり。今後、役員会への出席を呼びかける。

次回役員会 平成29年1月